



コロナに翻弄された2020年でしたが、早いもので師走を迎えました。暖かい小春日和の多い今年の秋でしたが、12月の声を聞くと、やはり朝晩の冷え込みは厳しいなあと感じるこの頃です。冬場を迎え、コロナの感染者も全国的に増加していますが、そのような中で、献身的に仕事に当たっておられる医療関係をはじめとしたエッセンシャルワーカーの方々に心から敬意を表すところです。今年は、世界的にもこれまで経験したとのない状況の中で、例年通りいかないことに、つい何かと不満も口にしたいくなることもありますが、こうした環境においても、頑張っておられる方々のご苦勞に心から感謝しなければと感じます。

さて、2学期も残り2週間ほどになりました。例年と異なった行事の実施など、保護者の皆様には何かとご迷惑をおかけしたことと思いますが、ご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。3学期も、どうぞよろしく願いいたします。



いよいよタブレットが！

以前、「学校だより」でもお知らせしましたが、いよいよ「GIGAスクール構想」が、実現してきました。益城町でも児童生徒に、パソコン一人1台の環境が整いつつあります。先日、本校にも、4年生から6年生用のタブレットPCが搬入されました。今後、職員は勿論、子どもたちにも学ぶ機会を設けながら、活用していきたいと考えています。

この後の流れとしましては、保護者の皆様に、ご家庭に持ち帰った時の使い方についての留意事項等についてお知らせするとともに、使用についての同意書の提出をお願いする予定にしております。後日、そのためのお知らせなども配布させていただきますので、ご協力方よろしく願いいたします。なお、今回のタブレットPCは、特に、ご家庭にWi-Fi等の環境がなくとも、すべてのご家庭で活用できるようになっております。



「読書のすすめ」

今年の本校の教育活動で特に子どもたちに頑張ってもらいたいこととして、「挨拶」「家庭学習」「運動」「読書活動」を掲げ、指導に当たってきました。良くなったこと、まだまだ課題のことなど、それぞれにいろいろありますが、課題の一つとして、家での「読書」があります。11月の保護者アンケートによれば、アンケート項目の中で一番ポイントが低かったのが、家庭での読書の項目でした。「子供は、家庭で読書することができていますか？」に、肯定的な回答は5割弱という状況でした。学校でも、朝読の時間や読み聞かせ、図書室での貸し出しの時間の確保、各教科での図書室を活用した調べ学習の実施、新刊図書の紹介、読書月間の取組等、本に親しむ機会を多くしているところです。

ぜひ、ご家庭でも、ノーメディアの取組と合わせて、子どもたちへの「読書のすすめ」をお願いします。親子読書や読み聞かせも効果的だと思います。読書は、子どもたちの豊かな心を育てること、また、読解力を身につけさせることにも大きな効果があると思います。ご協力よろしく願いいたします。